

令和6年度（2024年度）採用 愛知県公立学校教員採用選考試験の採用予定人員等

愛知県教育委員会

I 日程

- (1) 受験案内の配布 令和5年4月25日（火）から、受験案内と願書等をダウンロードできます。
教職員課 Webページ <https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>
- (2) 願書受付期間 令和5年4月27日（木）～令和5年5月12日（金） ※当日消印有効
- (3) 試験日 第1次試験 令和5年7月22日（土）
 第2次試験 1日目 令和5年8月17日（木） 2日目 令和5年8月18日（金）

新型コロナウイルス感染症の今後の状況変化により、やむを得ず日程の変更又は延期する場合は、教職員課Webページへの掲載等にて受験者の皆様にお知らせします。試験日前には、必ずご確認ください。

II 受験区分

受験区分		採用予定人員	教科（科目）
小学校教諭		約800人	
中学校教諭		約370人	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語
高等学校教諭		約260人	国語 地理歴史 公民 数学 理科 美術 保健体育 家庭 英語 商業 工業（機械） 工業（電気） 工業（土木） 工業（化学工業） 農業 水産（漁業） 水産（機関） 看護 情報 福祉
特別支援 学校教諭	小学部	約140人	
	中学・高等部		国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語 工業（機械）
養護教諭	小・中学校	約27人	
	県立学校	約3人	
栄養教諭	小・中・県立 （特別支援）学校	約10人	

- 注意 1 日本国籍を有しない者は、任用の期限を付さない常勤講師に任用します。
 2 受験区分及び教科（科目）について一つのみ出願できます。
 3 採用予定人員は現時点における一応の目安であり、変更することがあります。
 4 採用予定人員の変動により、受験した受験区分以外の校種（特別支援学校の部を含む。）の要員として合格又は補欠とすることがあります。
 5 小学校教諭及び中学校教諭の採用者については、一定期間を経過した後に小学校及び中学校の校種間で異動することがあります。
 6 栄養教諭については、特別支援学校へ配置されることがあります。

III 令和5年度採用教員採用選考試験（令和4年度実施）の実施状況（令和5年4月1日現在）

区分教科(科目)	受験者 (A)	合格者 (B)	補欠者	繰上者 (C)	倍率 (A/(B+C))	
小学校教諭	2,009人	900人	130人	89人	2.0倍	
中学校教諭	国語	160	57	18	10	2.4
	社会	239	43	20	2	5.3
	数学	187	58	15	11	2.7
	理科	102	65	17	8	1.4
	音楽	88	22	6	6	3.1
	美術	50	15	4	2	2.9
	保健体育	453	35	8	2	12.2
	技術	20	16	0	0	1.3
	家庭	33	15	4	2	1.9
	英語	191	74	30	11	2.2
特別支援学校教諭	318	100	19	5	3.0	
小・中学校養護教諭	374	45	7	2	8.0	
県立学校養護教諭	44	5	2	0	8.8	
栄養教諭	101	10	3	1	9.2	

区分教科(科目)	受験者 (A)	合格者 (B)	補欠者	繰上者 (C)	倍率 (A/(B+C))	
高等学校教諭	国語	146人	38人	10人	3人	3.6倍
	地理歴史	178	32	8	7	4.6
	公民	61	2	1	0	30.5
	数学	195	20	7	2	8.9
	理科	160	20	6	0	8.0
	音楽	16	1	1	0	16.0
	音楽(明和)	1	1	0	0	1.0
	美術	13	1	1	0	13.0
	美術(旭丘)	5	1	1	0	5.0
	保健体育	257	20	4	1	12.2
	家庭	39	10	1	1	3.5
	英語	118	45	12	8	2.2
	商業	54	15	3	1	3.4
	機械	19	11	0	0	1.7
	電気	18	10	0	0	1.8
	建築	8	3	1	0	2.7
	陶芸	3	3	0	0	1.0
	農業	19	6	1	0	3.2
	情報	37	8	2	1	4.1
	福祉	6	1	1	0	6.0
看護	2	2	0	0	1.0	

○ 新型コロナウイルス感染症への対応や台風などの非常時における試験実施については、下記のホームページに掲載します。

- ① 掲載予定時刻 新型コロナウイルス・・・随時
 台風の場合……………試験前日午後7時から
- ② Web ページアドレス
<https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>

試験当日の新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 会場敷地内における感染予防対策に御協力をお願いします。
- (2) 試験会場は、換気のため、適宜窓や扉を開ける場合があります。試験当日は、体温調節のしやすい服装で受験してください。

《参考》令和5年度（2023年度）採用愛知県公立学校教員採用選考試験の問題の一部を参考として情報提供いたします。

I 第1次試験の小論文の問題

問題 次の文章を読んで、この筆者の考えをあなたはどうかとらえるか。また、それを踏まえて、あなたはどのような教員を目指したいと考えるか。900字以内で述べよ。

答えは確かに〈ある〉。それが初等中等教育における「問題」の大前提である。そして先生はその答えを知っている。その正しい答えに、どうしたら自分たちも到達できるだろうか。先生が知っているはずの答えと自分のものが一致すれば正解で、違っていればバツ。それが入学試験も含めて、高校までの試験の問題であった。

考えてみると、これは怖(こわ)いことではないか。なぜなら、小学校から高校まで、誰もが一貫して、問題には必ず答えがあるということを前提とし、正解は必ず一つであると思い込んできたのだから。教師の側も、答えが二つも三つもある問題は避けてきただろうし、答えのない問題は出しようがなかった。

どこかに正解があって、その正解は自分が知らないだけであって、誰かが(たぶん誰か偉い人が)知っていると、頭から思い込んでいること、その呪縛のまま、大学においても同じスタンスで教育を受け、そして社会に出ていく。そんな社会人ばかりが増えていくと考えることは怖(おそろ)しいことではないか。

(永田和宏著『知の体力』より)